

から放送日 2012年5月31日～6月13日

とうかいじしん こんしゅう わんぽいんと あどばいす
「東海地震にそなえて 今週のワンポイント・アドバイス」

いつおこるかかわからない「東海地震」。情報から隔絶されやすい外国人の被害を少なくするために、地震の被害から身を守る方法や、事前の準備、地震直後にとるべき行動など、外国人の皆さん一人一人に知ってほしい防災情報をお伝えするコーナーです。

19. クラッシュ症候群

クラッシュ症候群とは、体の一部が、長い時間、重たいものにはさまれた人におこる病気です。地震で手や足が倒れた建物の下じきになった人がかかります。

体の一部が、重たいものの下じきになると、そこに血が流れなくなります。すると、その部分の細胞が死にます。死んだ細胞から毒素が出て、体の中に入ってきます。毒素が心臓を止めます。腎臓を詰まらせます。尿(おしっこ)が出なくなり、死んでしまいます。阪神・淡路大震災では、約400人が「クラッシュ症候群」になりました。そのうち50人が死にました。

「クラッシュ症候群」は、見つけにくい病気です。建物の下から助け出された人が

1. 2時間以上はさまれていた。
2. はさまれていたところが動かない、なにも感じない(麻痺)。
3. 濃い赤色、またはコーヒー色のおしっこが出る。

場合は、クラッシュ症候群かもしれません。できるだけ早く治療をしてください。

はさまれている人を見つけたら、

1. 水をたくさん飲ませてください
2. はさまれている部分を、幅の広いタオルで強く縛ってください。
3. 助け出したら、体で、動かないところや何も感じないところ(麻痺)があるか確認してください。
4. できるだけ早く、病院に運んでください。救護所には運ばないでください。
5. 病院で、はさまれていたこと、麻痺があること、助け出した時間を伝えてください。